

秋本議員を逮捕



秋本真利衆院議員

秋本容疑者は現在4期目。自民党再生可能エネルギー

現職国会議員の逮捕は、2020年6月に公選法違反の疑いで逮捕された河井克行衆院議員(当時)と河井案里参院議員(同)以来となる。

計約6100万円の賄賂を受領した疑い。

逮捕容疑は日本風力開発の前社長から風力発電事業

東京地検特捜部は7日、洋上風力発電事業に絡む依頼の見返りに日本風力開発側から賄賂を受け取ったとして、受託収賄容疑で衆院議員秋本真利容疑者(48)＝自民党を離党、比例南関東＝を逮捕した。政府が再生可能エネルギー普及の「切り札」と位置付ける洋上風力発電を巡る不透明な資金受領は、政界の汚職事件に発展した。

6100万円受託収賄容疑 洋上風力発電前社長から

東京地検

ギン普及拡大議員連盟の事務局長などを務めた。洋上風力発電の海域利用のルールを定めた再エネ海域利用

法制定の推進役となり、同法は19年4月に施行された。

秋本容疑者はその後も洋上風力発電を後押しし、日本風力開発などが求めた事業者公募の評価基準見直しを国会で要請していた。

特捜部は8月4日、秋本容疑者の東京・永田町の議員会館事務所などを家宅捜索。容疑者は外務政務官を辞任し、翌5日に自民党を離党した。

日本風力開発は1999年の設立。青森県・陸奥湾、秋田県沖の3海域などで洋上風力発電事業への参入を検討してきた。同社ホームページによると、国内外で293基、合わせて570メガワット以上の風力発電を開発してきたとしている。



衆院第1議員会館前に集まった報道陣
7日午前、東京都千代田区